

上越市 まちなか居住推進事業

【直江津地区】

ニュースレターVol.6



「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す**新しいまちづくり**の取組です！

本紙やホームページを通じて事業の取組内容や進捗状況を定期的にお知らせしています。

今回は、6月5日に開催した直江津地区の15町内会長を対象とした報告会についてお知らせします。

① モデル地区3町内（あけぼの、天王町、福永町）のこれまでの取組

【令和4年度】

第1回 ワークショップ

- ・町内の問題点と課題について意見交換
- ・問題点や課題についての解決策のアイデア出し

第2回 ワークショップ

- ・どういうまちにしていきたいか（将来像）
- ・どこで、どういうことができそうか（具体策）

第3回 ワークショップ

- ・現実的にどこならできそうか
- ・地元、民間事業者、行政はそれぞれどういうことができそうか



ワークショップを踏まえた支援制度の方針について意見交換

- ・隣接地統合のための支援策、空き店舗の所有者、出店者に対する支援策、空き家のマッチング制度など

モデル事業の実施（令和5、6年度）

モデル地区町内会長の取組発表（意見・感想含む）

あけぼの

- ・あけぼのでは、駅前立地や鉄道を生かしたまち、子育て世帯が住みたくなるまちを将来像としてあげている。
- ・今後も支援制度を活用して町内を盛り上げていきたい。

天王町

- ・空き家所有者へアンケートを実施してみて、町内の空き家の状況を知ることができたが、空き家の老朽化が進んでいてリフォームして住もうと思う人は少ないのではと感じている。
- ・塩害対策など町内の環境に合わせた支援制度があってもよいと思う。

福永町

- ・ワークショップでは多くの方が参加し、意見を出し合うことで、町内の魅力や課題が見えてきた。
- ・町内に住みたいという要望は聞いているが、どうやって情報を収集して市と連携していくか課題である。
- ・まずは空き家を一件ずつ調べ、市に情報提供することで空き家利活用者の増加につなげていきたい。



② 直江津地区における今後のまちづくり ～まちなか居住のすすめ～

まちづくりの専門家として、本事業に助言等をいただいている 埒 正浩（らち まさひろ）アドバイザーから講演

- ・ 港町直江津の海や駅、祇園祭は直江津地区の個性である、そこに魅力を感じて移住した人から、実際にお声もいただいている。
- ・ 住民と事業者と行政が、協働でまちづくりを進めることが大切です。
- ・ まずは出来ることから、まちなか居住に取り組んでいきましょう。



事例紹介 長野市の善光寺周辺の実践「門前暮らし相談所」

- ・ 空き家見学会・相談会がこれまで130回以上開催され、100軒以上が住まいや店舗に活用されている。
- ・ 門前を魅力だと感じる皆さんと楽しく暮らしたい、まち暮らしを楽しみたいがモットー。
- ・ 地域のことを一番知っている町内会長が町内の空き家を案内している。



ゲストハウスやカフェ、雑貨店等として利用されている

③ 令和5年度以降の取組（推進地区の認定、支援制度の活用）

市は、次の制度を創設しましたので、ご活用ください（モデル地区と推進地区限定）

※モデル地区は令和6年度まで、令和7年度以降は推進地区認定が必要となります。

空き家の利活用を推進する取組

- 1 空き家マッチング制度
(空き家所有者と利活用希望者の縁結びを市がお手伝い)
- 2 空き家の購入支援
- 3 住宅兼店舗等水回り改修支援
- 4 空き家の片付け支援
- 5 空き店舗等の利活用支援

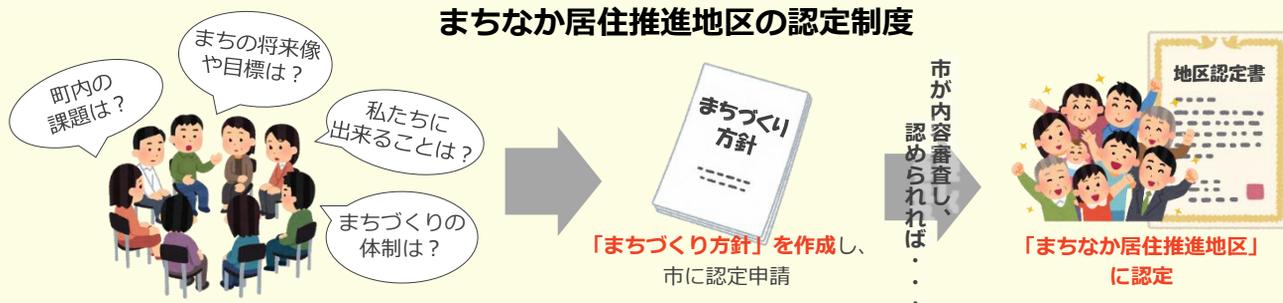


良好な住環境の整備・まちの魅力向上の取組

- 6 隣地統合支援
- 7 住宅のリフォーム支援
- 8 雁木通りの街なみ形成支援



まちなか居住推進地区の認定制度



※推進地区認定に向けた話し合いを町内で進めてみてください！

どのように取り組めばよいかわからなければ、市が説明に伺いますので下記までご連絡ください！

